

日時：令和3年10月18日（月）15：00～

場所：三田市役所本庁舎3階302会議室A

第5次三田市農業基本計画策定懇話会 第2回分科会B 次第

1 開会

2 協議事項

(1) 第4次農業基本計画の取り組みの振り返りについて

(2) 意見交換

(3) まとめ

3 閉会

(配布資料)

資料1 懇話会・分科会の進め方について

資料2 第4次三田市農業基本計画の成果指標

資料3 第4次三田市農業基本計画の取り組みについて（当日配布）

第1回分科会会議録

懇話会・分科会の進め方について

第5次三田市農業基本計画の策定を進めるにあたり、次の流れにより、委員の皆さまにはご協議いただきます。

1 第1回懇話会（8月30日開催済）

- (1) 座長、副座長の選任
- (2) 懇話会の役割とスケジュールの確認
- (3) 第4次三田市農業基本計画の振り返りについて

**2 第1回分科会A・B・C（9月16日、22日開催済）**

- (1) 第4次三田市農業基本計画の振り返りについて
- (2) 意見交換

**3 第2回分科会A・B・C（10月18日、21日、22日開催）**

- (1) 第4次三田市農業基本計画の取り組みの振り返りについて
 - ・前回と今回の協議をふまえ、第4次計画の各戦略の項目（三田ブランドの強化、酪農の振興など。資料3を参照）ごとに、分科会としてのご意見を伺います。

**4 第2回懇話会（11月開催予定）**

- (1) 分科会A・B・Cにおける議論について
 - ・第2回分科会でいただいたご意見を、懇話会全体で共有します。
- (2) 農業・農産物に関するアンケート調査結果について（速報）
- (3) その他

**5 第3回分科会A・B・C（11月開催予定）**

- ・これまでの分科会や懇話会での協議をふまえ、第5次計画で取り組むことについてご意見を伺います。

**6 第3回懇話会（12月開催予定）**

- (1) 各分科会のまとめ
 - ・分科会のご意見を、懇話会全体で共有します。
- (2) 第5次三田市農業基本計画（素案）について

※ 第4回懇話会の開催は、第3回懇話会の開催状況により検討いたします。

第4次三田市農業基本計画の成果指標

資料2

戦略	成果指標	目標値の考え方	基準値 (H27)	H29	H30	R元	R2	目標値 (R3)	達成率 (R2/R3)	備考
戦略1	認定農業者および 新規就農者数	基準年度比で2割増加 を目標とする。	62人	76人	80人	85人	88人	75人	117%	H29:認定農業者63+新規就農者13 H30:認定農業者64+新規就農者16 R1:認定農業者69+新規就農者16 R2:認定農業者71+新規就農者17
戦略1	1経営体当たりの 経営耕地面積	農林センサスの過去 10年間の増加率から1 割増加を目標とする。	11,900㎡	11,900㎡	11,900㎡	11,900㎡	13,300㎡	13,000㎡	102%	2020年農林業センサスで達成率を評価
戦略2	エコファーマー 率	年間6人程度の増加を 目標とする。	10.91%	7.39%	7.20%	7.70%	7.57%	13.00%	58%	環境保全型農業直接支払交付金の交付要件はエコファーマー認定からGAPの取組に変更
戦略2	開発された農畜 産加工品の数	年2件程度の開発を目標とする。	3件	6件	9件	15件	17件	10件(累計)	170%	H29:湊川短大1件 H30:JA3件 R1:JA6件 R2:JA2件
戦略2	肥育頭数(県内産 但馬牛)	平成22年度の頭数 (1,518頭)までの増加 を目標とする。	1,341頭	1,418頭	1,597頭	1,721頭	1,807頭	1,500頭	120%	
戦略3	地場産レストラン 年間来客数	概ね100人/日以上の来 客を目標とする。	—	—	—	—	—	4万人		
戦略3	体験型観光者数	基準年度比で3割増加 を目標とする。	101千人	91千人	99千人	91千人	91千人	130千人	70%	
戦略3	市外での直売活 動等の延べ件数	10件/年の直売活動を 目標とする。	5件	25件	35件	43件	50件	50件(累計)	100%	H29:市外13件(大阪、神戸、尼崎、鳥羽、川西等) H30:市外10件(大阪、神戸、伊丹) R1:市外8件(大阪、神戸) R2:市外7件(東京、神戸)
戦略4	飲食店・企業等 での三田産の利 用数	2~3店舗/年の増加を 目標とする	56店舗	71店舗	72店舗	79店舗	79店舗	70店舗	113%	H29:15件登録 H30:1件登録 R1:7件登録 R2:0件登録
戦略4	パスカルさんだ での地場農産物 販売高	基準年度比で15%の増 加を目標とする。	6.1億円	5.6億円	5.1億円	5.4億円	6.0億円	7.0億円	86%	
戦略4	学校給食での地 場野菜使用率	基準年度比で2割増加 を目標とする。	28.57%	34.62%	31.40%	31.40%	31.90%	35.00%	91%	全野菜の使用品目に占める地場野菜の使用率で算出 R2:15品目/47品目中
戦略5	集落農組織化 集落数	年間1集落の営農組織 の設立を目標とする。	20集落	25集落	25集落	26集落	26集落	25集落	104%	
戦略5	鳥獣害の農作物 被害額	基準年度比で25%の削減 を目標とする。	13,178千円	13,142千円	19,990千円	10,121千円	8,720千円	10,000千円	87%	

第4次三田市農業基本計画に基づく取り組みについて

資料3

戦略	項目	施策の方向性	取組名	取り組みの概要	実績値(※累計：H29～R2)	主な成果と課題
戦略2-1 (1)三田ブランドの強化		2)安全・安心な農業の推進	①環境保全型農業直接支援対策	・より環境保全に効果の高い営農活動の普及推進を図るため、自然環境の保全に資する農業生産活動の実施に伴う追加的コストを支援しました。	○水稻の特別栽培農産物：57.2ha (H29) 76.6ha (R2) ○合鴨農法による水稻栽培：1.7ha (H29) 0.7ha (R2) ○ファームマイレージチケット交換件数：4,356枚(累計)	◆ 成果 ・消費者の有機農産物への関心の高まりにより、水稻の特別栽培農産物の面積がH27年度の38.4haからR2には76.6haへと増加しています。また、国庫補助事業を活用した環境保全型農業を継続して行っています。(R2年度10団体) ● 課題 ・持続可能な循環型農業の定着には、継続した有機JAS認証やひょうご安心ブランドなどの有機農業や低農薬の取り組みの推進していく必要があります。
			②農産物のブランド力強化・消費拡大	・環境にやさしい農業を推進するため、地場産品の購入にポイントがつく仕組みを構築し、消費者・生産者が一体となって地産地消に取り組みました。	○WCS取組面積：28ha (H29) 22ha (R2)	◆ 成果 ・市産地交付金で粗飼料生産水田への堆肥散布を行う農業者への支援や三田市耕畜連携推進協議会等によりWCS(稲発酵粗飼料)生産の取組みを推進しています。 ● 課題 ・畜産農家の廃棄や種耕農家の減少などの要因から、WCS(稲発酵粗飼料)作付面積が減少しています。
			③有機農業の推進	・有機農業を志す就農希望者への市内有機農業農家を紹介しました。 ・三田有機農業講座の開催を支援や県主催等の有機農業に関する研修会の周知を実施しました。	○就農相談件数：162件(累計)	◆ 成果 ・学校給食に三田産地場野菜(三田米も)を使用し、地産地消を推進しました。 ・食育フェスティバルで食育や地産地消の大切さを普及啓発しました。
戦略2-2 (2)酪農の振興		1)耕種農家と畜産農家の連携	①WCSの生産等の取り組み推進	・市産地交付金で粗飼料生産水田への堆肥散布を行う農業者を支援するほか、三田市耕畜連携推進協議会等によるWCS(稲発酵粗飼料)生産の取組みを推進しました。	○地場産野菜品目数：48品目中15品目 (R2)	◆ 成果 ・学校給食で地場産品を使用する場面の補助を実施するなどの取組みを行いました。 ・三田市食育推進計画に基づき、市HPでのコラム掲載や講座を実施するなど、食育活動を促進しました。 ・健康増進課や学校給食課と連携しながら食育フェスティバル等を開催し、子どもを対象とした食育や地産地消の大切さの普及啓発を実施しました。
			②安全なさんだの食料等学校給食活用	・絵手紙コンクールや学校給食展により、三田の食材を味わう喜びや楽しさと、農家のみなさんへの感謝の気持ちの醸成につながりました。 ・R2年度は県産和牛肉学校給食提供事業を活用し三田肉を提供しました。	○絵手紙コンクール応募数：6,495作品(累計) ○学校給食への三田肉提供回数：各4回 (R2)	● 課題 ・積極的に大学生や高校生に対する地産地消の啓発や農への理解を深めるための取組みが必要です。 ・大人を対象として、効果的な食の大切さや農への理解を深めるための周知啓発する必要があります。
戦略4 (2)市民の食育		1)学校での食育の推進	②食育推進	・学校給食の米飯給食が一般化されたため米飯とパンの差額助成制度をH29年度末で廃止しました。	○市政出前講座実施数：54回(累計) ○参加者数：2,432人(累計)	
			③ごはん給食	・三田肉の活用は食材購入費全体の中で検討することとし、購入費用に対する助成制度をH29年度末で廃止しました。	○学校給食の地場野菜の使用率：31.3%(R2)	
2)大人の食育			④三田肉ふささと給食	・市政出前講座及び市内の高校生向けに食育講座を実施しました。	○ヘルシークッキング教室の実施数：9回 (H29～R1累計) ○ヘルシークッキング教室の参加者数：205人 (H29～R1累計)	
			⑤食育講座	・給食の地場野菜供給を支援するため、5か年の野菜平均価格との差額を助成しました。	○普及啓発の実施数：17回 (H29～R1累計) ○参加者数：5,226人 (H29～R1累計)	
			①地場野菜学校給食事業	・健康診断受診後のフォローアップ教室(バランスのよい食事講和など)を実施している。 ※R2年度はコロナの影響により中止。	○いい歯のフェア参加者数：3,800人 (H29～R1累計)	
			②健康料理教室	・野菜摂取PR事業として、企業で野菜摂取量の確認シートを使った野菜摂取の普及啓発を行いました。 ※R3年度はオンライン等を活用した啓発を検討中。	○食育関係団体数：38団体 (R2)	
			③野菜摂取PR	・「いい歯のフェア」として、食育関係団体と連携し健康づくりの普及・啓発を実施しました。 ※R2年度はコロナの影響により中止。	○食育教室の実施数：247回 (H29～R2累計) ○食育教室の参加者数：10,112人 (H29～R2累計)	
			④いい歯の日フェア	・食育取組アンケート結果を市HPに掲載し、食育関係団体間の連携を図りました。 ・さんだ食育ネットで市民や食育関係団体へ市の事業等の情報を発信しました。		

戦略	項目	施策の方向性	取組名	取組みの概要	実績値(※累計・H29～R2)	主な成果と課題
戦略5	(2)農村を取り巻く自然環境の維持	1) 鳥獣被害対策の推進	① 有害鳥獣防除対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥獣被害対策実施隊による捕獲活動を行うとともに、防除柵設置補助による防除活動を支援しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 有害鳥獣被害額：13,142千円 (H29) 8,720千円 (R2) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 成果 <ul style="list-style-type: none"> ・ 獣害防除柵設置累計は約200kmに及び、R2年度には目標額に迫る8,720千円に被害を抑えることができました。 ・ ナラ枯れ対策を実施した結果、R2年度には被害がピーク時の10%にまで低減しました。
		2) 森林、里山の保全と利活用	② ジビエの有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ ジビエの有効活用を検討しましたが、捕獲頭数が商業ベースには届かない結果となりました。 		
			① 森林整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人工林の間伐・造林は行いませんでした。 		<ul style="list-style-type: none"> ● 課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 三田市鳥獣被害対策実施隊員の平均年齢が70歳を超えるなど高齢化が進み、新たな担い手の確保が急がれるとともに捕獲活動の省力化が早急に求められます。 ・ 持続可能な里山の管理が必要です。
			② 森林病害虫対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ ナラ枯れ対策として、伐倒駆除を行いました。H27年度の被害先端地指定から5年以上が経過し、被害は終息に向かっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ナラ枯れ被害材積：3,314m³ (H29) 344m³ (R2) 	
			③ 里山管理住民参加型森林整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民参加（市民ボランティア）による里山保全活動を支援しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ボランティア団体数：3団体（累計） 	
			④ 里山共生まちづくり推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 里山の再生を目指すため、資源循環型竹林整備補助事業を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 補助実績：5件（累計） 	